

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎0120-154-052)  
2018年12月 相談集計報告

## ○全体の特徴

■12月11～12日に実施された「連合全国一斉集中労働相談ホットライン」(相談件数504件)も影響し、全体で1,386件の相談が寄せられ、前年同月の1,141件を250件近く上回った。

■年代別については、40代(344件・32.7%)、50代(281件・26.7%)が全体の約60%を占めた。業種別では、医療・福祉(164件・17.3%)が最も多かった。

■相談内容別では、「パワハラ・嫌がらせ」(205件・14.8%)が10カ月連続で最も多かった。

■具体的な相談では、2019年4月から施行される時季を指定した年次有給休暇の5日取得の義務化に伴い「取得されるかどうか、外部から調査が入ったりするのか？」という内容や、「部署内の複数の人たちが、自分に対する嫌がらせの発言を直接ではないが自分に聞こえるように言ってくる。人事の相談窓口には部署の異動を相談したが、嫌なら辞めるしかないと言われた」などが寄せられた。

		2018年			2017年		
集計対象期間		12月1日～12月31日			12月1日～12月31日		
受付件数(受付件数のみ報告分含)		1,386			1,141		
報告(本部・地方)数		48			48		
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	732	52.8%	男性	644	55.7%	
	女性	654	47.2%	女性	497	44.3%	
年代 (不明除く)	10代	9	0.9%	10代	2	0.2%	
	20代	93	8.8%	20代	108	12.6%	
	30代	187	17.8%	30代	194	20.4%	
	40代	344	32.7%	40代	284	32.8%	
	50代	281	26.7%	50代	201	22.2%	
	60代	112	10.6%	60代	94	9.8%	
	70代	27	2.6%	70代	17	2.0%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	663	52.2%	正社員	577	55.1%	
	パート	223	17.6%	パート	163	15.6%	
	アルバイト	75	5.9%	アルバイト	57	6.0%	
	派遣社員	85	6.7%	派遣社員	61	5.5%	
	契約社員	106	8.3%	契約社員	75	6.8%	
	嘱託社員	13	1.0%	嘱託社員	11	1.5%	
	臨時・非常勤職員	9	0.7%	臨時・非常勤職員	10	1.0%	
	その他	96	7.6%	その他	91	8.6%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療・福祉	164	17.3%	医療・福祉	139	17.4%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	158	16.6%	サービス業(他に分類されないもの)	136	17.1%
	3位	製造業	156	16.4%	製造業	119	14.9%
	4位	卸売・小売業	120	12.6%	卸売・小売業	87	10.9%
	5位	運輸業	100	10.5%	運輸業	79	9.9%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	パワハラ・嫌がらせ	205	14.8%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	136	11.9%
	2位	雇用契約・就業規則	106	7.7%	不払い残業、休日手当・割増賃金未払	107	9.4%
	3位	解雇・退職強要・契約打切	101	7.3%	解雇・退職強要・契約打切	101	9.1%
	4位	年次有給休暇	93	6.7%	退職金・退職手続	98	8.6%
	5位	退職金・退職手続	83	6.0%	雇用契約・就業規則	84	7.4%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	84	6.6%	新聞・雑誌	86	8.7%	
	ラジオ・テレビ	268	21.0%	ラジオ・テレビ	188	18.9%	
	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	120	9.4%	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	84	8.5%	
	ホームページ	551	43.1%	ホームページ	393	39.5%	
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	54	4.2%	SNS(フェイスブック・ツイッター)	20	2.0%	
	紹介(労基署等)	49	3.8%	紹介(労基署等)	45	4.5%	
	その他	153	12.0%	その他	178	17.9%	

【参考】2018年12月 連合本部 インターネット労働相談受付件数 54件